



なぎちょう  
奈義町

12月議会

# 議会だより

あなたと議会を結ぶ広報紙

平成27年2月1日発行

## 大熱演こども歌舞伎



げんばいさきわけ ばたん しげただやかた だん  
源平咲分牡丹 重忠館の段

(文化センターにて)

# 133号

## 【おもな内容】

■ 11月臨時議会・12月定例会	2～3ページ
■ 総務・産業常任委員会報告	4ページ
■ 一般質問	5～11ページ
■ 東北合同視察・(株)果実工房視察	12ページ
■ 議員研修・組合議会の報告	13ページ
■ 議員が歌舞伎を上演・里丸会・編集後記	14ページ

発行 奈義町議会  
編集 議会広報委員会  
〒708-1392  
岡山県勝田郡奈義町  
豊津306-1  
☎(0868)36-4191

# 一般会計から繰入れ等を決定

12月定例議会は、12月2日から11日までの10日間開催。条例14件、補正予算6件、契約2件、報告1件、請願3件、陳情1件、意見書2件、その他5件、合計34件の議案を審議し、原案のとおり可決。8名が一般質問をおこないました。

## 『条 例』

る条例の一部を改正する  
条例

- 奈義町定住促進住宅条例  
若者定住に関する条例
- 奈義町議会議員の議員報酬に関する条例の一部を改正する条例
- 町長及び副町長の諸給与に関する条例の一部を改正する条例
- 教育長の給与及び勤務時間に関する条例の一部を改正する条例
- 以上右三件は、職員の人事院勧告による報酬の一時金改定により特別職・議員も0・15ヶ月分引き上げました。
- 奈義町委員会委員等報酬及び費用弁償支給方法条例の一部を改正する条例
- 奈義町職員の給与に関する条例

## 『補正予算』

（全員一致）



60周年記念モニュメント工事中

・住宅建設促進事業債	1200万円	・奈義町国民健康保険特別会計
・農地集積推進事業県補助金	600万円	・奈義町介護保険特別会計
・生活弱者支援事業債	2751万4千円	・奈義町下水道特別会計
・農業振興費	7億2823万8千円	・奈義町上水道事業会計
・農業振興費	7億9850万円	・奈義町国民健康保険費
・農業振興費	3億1489万6千円	・奈義町工業用水道事業会計
・特別会計等	614万5千円	・奈義町工業用水道事業会計
○予算総額は次のとおりとなりました。	1720万4千円	（以上全員一致）

## 12月 定例議会

平成26年  
12月2日～11日

# 医療費増大 国保会計大変。

- 雇用促進住宅奈義宿舎の取得について
- 雇用促進住宅の土地と建物を取得し奈義町定住促進住宅として使用する。
- 那岐山麓遊歩道整備工事請負変更契約の締結について
- 専決処分（軽微な改正）の報告
- 【採択したもの】
  - ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充に関する請願
  - 年金削減の取りやめと最低保障年金制度の実現を求める意見書
- 【委員会付託としたもの】
  - 集団的自衛権容認を強引に進める事に反対する意見書提出を求める請願

## 『請願』

- ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書

## 『報告』

- 町道認定の陳情（行方地内）
  - 町道の路線認定について市町村計画の変更について
  - 津山圏域消防組合規約の変更について
  - 所管事務等の調査について
- （以上全員一致）

## 『契約』

## 『陳情』

## 『その他』



つり橋が完成（遊歩道）

- 米価暴落に対し緊急対策を求める意見書  
（以上全員一致）
- 県下に先がけて意見書を提出。
- 他の町村議会も奈義町議会を参考に、提出が行なわれています。

## 『補正予算』

- AEDを各地区に設置
- ふるさと納税お礼  
　　720万円
- 金額2千万円  
　　630万円他

## 『補正予算』

- 11月11日、臨時議会を開催。契約1件、補正予算3件、報告1件、意見書1件を審議し、原案のとおり可決した。

## 臨時議会報告

# 委員会報告

## 総務常任委員会

11月26日、委員全員と花房町長をはじめ担当課長出席のもと、所管事務の調査を行った。主な質疑は次のとおり。

問..排土板はトラクターに装着して使用するが、取り扱い方法や安全面についてどのように考えているのか。

答..講習会等を開いて安全使用につとめる。

問..自主防災の訓練を2年行つたが、それらの反省点をどのようにまとめているのか。

答..各地区長（自主防災の長）に反省点を文章で提出してもらっている。

問..雇用促進住宅購入後の管理運営はどの課が担当するのか。

答..将来、指定管理も考えており、担当課は検討中

である。

問..中央広場の常設テントの活用法は。

答..夏まつりや、農林業祭のイベント、子供たちのサッカー、野球等の休憩所に、と考えている。

問..60周年記念モニュメントは。

答..委員会の検討の結果、庁舎前の植え込みに決定。

問..ふるさと納税の1件当たりの額はいくらが多いのか。

答..1万円が圧倒的。最高額は50万円。

問..賃貸住宅の入居者選考しているのか。

答..委員は3名に委嘱して任期は3年である。

問..防犯カメラは、地区に1個で集合場所に設置するが、再検討を



除雪はおまかせ排土板

してほしい。

答..保護者、PTAと相談を行い、防犯主幹、教育委員会とも検討の結果、調整ができている。

問..AEDの取扱いの講習をしてほしい。

答..十分な説明をしたい。

問..排土板の後ろへの設置理由は。

答..前に付ける物と比較すると膨大な価格となる。

問..太陽光発電で電力会社の今後の買い取り受入れの見通しは。

答..50kwを超える事業用はむずかしい。10kw未満の家庭用については大丈夫である。

問..規則の中で、減免ができるかどうか状況を見て町長が判断する。

答..お試し住宅4万円は、家具、食器、電気、水道代を含めたものか。

答..必要最低限の物は含めたい。

問..遊歩道の吊橋の所から下の町道に降りられるか。

答..下の町道に降りられるようにする。

問..下水道で、できない戸数が約10%あると理解してよいのか。

答..分担金が払えない、加入の意思がない等である。

問..那岐池幹線水路で水漏れしている。補修はできなか。

い。

答..支払いの選択肢が増えた。

問..旧雇用促進住宅の1階は、高齢者、障害者が対象となるが、家賃を少し安くしては。

答..規則の中で、減免ができるかどうか状況を見て町長が判断する。

答..県に要望する。

問..米価暴落で集落営農の経営に補助制度はないか。

答..経営への補助はない。

問..菩提寺研修センター跡地を駐車場として利用できるのか。

答..関係者と協議が必要。

問..山の駅のバイキングのPRと品数はどうか。

答..PRはチラシ、ホームページ等で。品数は少し増えている。

## 産業常任委員会

## 総務常任委員会

る。今回は信用度のたかいクレジットでお願いしたい。



山の駅バイキング

# 15期最後の一般質問



中井 泰洋 議員

Q 町長 2期の成果は

A 施策の実現に向けて  
誠実に取り組んできた

質問  
町長 2期の成果と、  
次期町長に託すことは。

答弁  
町長 全体的な総括

としては、小さいからこそ  
できる、きめ細かな行政運  
営を行い、町政に対しても  
かりと地に足をつけて誠実  
に取り組んできた。そして、  
ソフト事業とハード事業の  
バランスを取りながら様々  
な財源手当てを行い、町民  
の安心、安全、そして、  
「奈義町に生れてよかった」  
「住んで良かった」と思え  
るまちづくりを進めてきた。

これも町民皆様のご支援と  
ご協力により実現できたも  
のであり、心から感謝して  
いる。

特に、健全財政の確立、  
安心、安全のまちづくりが  
期待していた以上に発展し  
たと思っていた。

6次産業の推進について  
は、計画をしていたが思う  
ように進展しなかった。種  
を蒔いて実ができるまでに  
は、一朝一夕には行かない  
ものだと思っている。町民  
皆さん、本当に一生懸命  
やって行こう、という積極的

的な気持ちを持っていただきたいと思う。

今後、奈義町の名をいつ  
までも残し、全ての町民の  
方が、「愛着と誇りを持つ  
て住み続けることのできる  
町」「住んで良かったと思  
える町」「住んでみたいと  
思える町」であって欲しい  
と願っている。子どもたちの  
元気な声が、どこでも聞  
こえてくる活気のある町に  
なってほしいと考えている。

次期町長に託すことは、  
その方のカラーで存分に活  
用してほしいと考えている。  
てもいい。

質問  
町への誘客に関して、  
地域主体、町民主体で取り  
組みができるのか、そして、  
『奈義町にきんちやい』キヤ  
ンペーンを企画し、全国発  
信ができるのか問う。

答弁  
町長 地域や町民の  
力あるまちづくりを実現し  
てもらいたい。

方で自発的に実施していた  
だけ、その中でサポートで  
きる事ができたら積極的に  
支援をしていきたい。



8年を振り返り答弁する町長

# Q 花房町政から引き継ぐべきものは



森藤 政憲 議員

## A 合併をせず、自立の道を頑張って欲しい

**質問** 今期限りとなつた花房町政から、次期町政に引き継ぐべきものは、①道州制に反対し、合併をせず、小さくてもきらりと光る町づくりを進めていく事、②ハード事業より、ソフト事業を重視し、町民に役立つ施策を進める事、③財政の見通しを立てながら、色々な施策を進めてきた、この姿勢も重要だ、④花房町長は、町民に役立つ事は、県や国に率先して行つてきた。これも継承すべきだ。⑤できうる限り住民負担は避けるとの姿勢を取つてきた。これも引き継ぐべきと思うが、見解を聞きたい。

答弁  
町長

①これからも合併をせずに、頑張って欲しい。②ハード事業ソフト事業のバランスを取りながら、町民に役立つソフト事業を強めてきた。③財政の見通しを立てながら施策を進めることは言われる通りである。④私は、町民に喜ばれることは、率先して行つてきただよに思う。次期町政にも期待する。⑤町民へ



「子育て応援宣言」(平成25年4月)

**質問** 今、町が検討を始めている、第2子、第3子の

**Q 第2子、第3子 軽減策に学校給食費も加えてはどうか**

**A 今後、よく検討したい**

**質問** いわゆる多子軽減策の対象の負担増は避けたい。来年の国保税は値上げを回避したい、と考えている。

**答弁  
町長** 給食費を加えるかどうかは、今後よく検討したい。

**Q 住宅リフォーム助成制度の創設を**

**A 下水道の住宅改修事業が完成の後に**

**質問** 住宅リフォーム助成制度は地域経済に効果があると全国の事例で証明されている。ぜひ、奈義町でも実施を考えてもらいたい。

**答弁  
町長** 意義については分かるが、下水の自宅の改修工事が終わってからが適切だと思っている。



小阪 四郎 議員

## Q 今後の財政見通しは

## A 5年後までは現状維持の見込み

質問 下水道事業の起債の返済計画は。

答弁 町長 平成25年度末

起債残高は29億8200万円、起債償還のペークは1億8800万円である。今後、下水道の経営状況を考慮して、使用料の適正な水準設定をすべきと考えている。

質問 高齢者に対する対策はどう考えるか。

答弁 町長 平成42年には

後期高齢者数がピークとなり、施設入所や介護保険サービスを受けられる方が増加すると予測される。

そのため介護予防の仕組みを検討すべきであるが、皆様にも地域づくりに創意工夫をしていただきたい。

質問 人口減少とともに国への交付金はどうなるのか。

答弁 町長 地方交付税は、

人口と面積により算定される。平成28年度以降の交付税の影響はあると思う。

い状況となると見込んでいる。農家にとって大打撃である。政府の考えだけでなく奈義町らしい政策予算是考えられないか。  
質問 町施設の老朽化にともなう維持管理料はどうか。  
答弁 町長 年次的に補助金や交付金を活用しながら改修をしている。いずれにしても善良な状態で施設を管理運営していかなくてはいけない。

質問 国民健康保険の将来の見通しは。  
答弁 町長 人口構造による被保険者の高齢化、入院や手術などの高額診療分の増加に伴い、大幅に増加している。一般会計予算からの大幅な繰入れが必要である。平成29年度から県に運営が変わる。今後、国の動向を注視していくかなくてはいけない。

質問 介護保険の見通しは。  
答弁 町長 高齢者数の増加に比例して要介護の認定期数も増加すると予測される。

質問 今年度は米価下落で

農家にとって大打撃である。政府の考えだけでなく奈義町らしい政策予算是考えられないか。  
質問 中期防衛計画で十年後には再編成が行なわれ、部隊が減少されるようだが基地のある町、奈義町は今後どうなるのか。  
答弁 町長 部隊削減はまちがいない。今までの累計をすると約300億円の防衛事業ができている。

質問 自衛隊との共存共栄で

Q 日本原演習場の今後は  
A 自衛隊との共存共栄で

Q 今後の教育方針は  
A 教育の原点は家庭

質問 教育に携わる指導者のあり方と今後の教育方針は。

質問 寄り添う丁寧さが必要であり、教育の原点は家庭教育であると認識している。

答弁 教育長 一人一人に

ちがいない。今までの累計をすると約300億円の防衛事業ができている。  
自衛隊との共存共栄は町であり、駐屯地存続を重ねて陳情したい。  
新しい形態の訓練等は非常に難しいが、利便性の高い演習場にしていきたい。

質問 中期防衛計画で十年後には再編成が行なわれ、部隊が減少されるようだが基地のある町、奈義町は今後どうなるのか。  
答弁 町長 部隊削減はまちがいない。今までの累計をすると約300億円の防衛事業ができている。



訓練中の輸送ヘリ



岡 立 議員

**質問** 借地問題について、基金ができ、一歩進んだが今後はどうか。

**答弁** 町長 契約時の経緯もあり、急にはむずかしい。このままではいけないが、

## A 時間をかけて解決を

## Q 借地問題は



岡 親佐 議員

**質問** 遊歩道と、菩提寺周辺に新設されたトイレの管理は今後どうするのか。

**答弁** 町長 今回、整備した遊歩道は、奈義町森林組合、菩提寺のトイレは高円地区にお願いをしたいと考えている。

## A 高円地区に、と考えている

## Q 菩提寺周辺のトイレの管理は

**質問** 就業場所や作業所も含め集える場所が町内に必要。関係者としっかりと連携をとりながら、ぜひ進めてほしいが。

**答弁** 町長 町の施設として

**Q** 障がい者の集える場所づくりは奈義町にできることを相談しながら

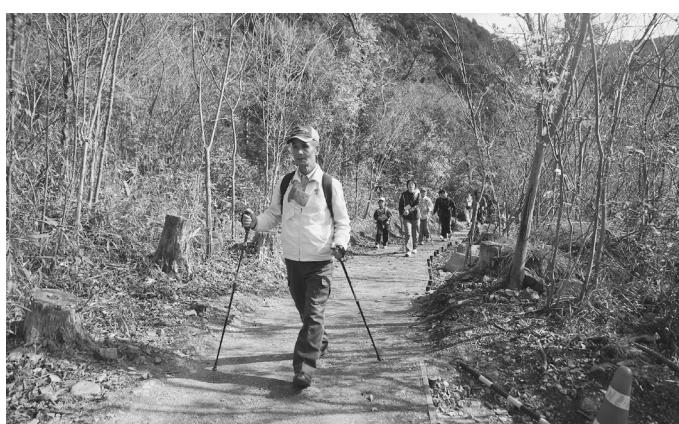
時間をかけて解決したい。

**Q** 定住促進と婚活について

**A** 若者でどんどん企画してほしい

**質問** 定住化促進と婚活は、きりはなせない。今期は、

**答弁** 町長 いろいろと手を尽くしているが、参加者が少ないので現状。若い人達の中からそういう気遣いがうまれ、活動がはじまるようなら、しっかりと応援したい。



新設された遊歩道

**質問** 津山圏域クリーンセンターは平成27年12月稼働ということがあります、可燃ゴミとリサイクルゴミの選別方法と収集方

**Q** 新クリーンセンターではゴミの扱いは変わるものか

**A** 現行どおり進めている

法はどのようになるのか。  
**答弁** 町長 基本的には、可燃ゴミ、リサイクルゴミ、それぞれ収集や選別、また収集日など現行どおり継続できるよう、計画、協議を進めている。指定ゴミ袋導入委員会をたち上げ、皆様の意見を聞き、必要最低限の経費に見合う単価や、規格等、検討している。また、ゴミステーションは新たに増設する予定はない。現行の施設を有効に利用していただきたい。



芦田一郎 議員

## Q 東山工業団地 2号地の取り組みは

### A 必要に応じて分割も



（株）果実工房と立地調印

質問  
なぎの里活性化支援券の継続を予算の範囲で実施

東山工業団地への企業誘致は、町の大切な施策であり、（株）果実工房の誘致は大きな成果と思う。引き続き残っている2号地の取り組みを町長に伺う。

答弁 町長 2号地は3万8千m<sup>2</sup>と最も大きい区画であり、一企業への売却が望ましいが、必要に応じ分割などの対応も考えている。

質問  
なぎの里活性化支援券の取り組みは、全国的に高く評価されている。

商工会員の発案で実施した活性化支援券スタンプラ

りーも好評だったと思  
う。

継続していただければ地域の活性化につながると思うが、町長に伺う。

答弁 町長

商工会から継続の要望があれば、予算の範囲内で対応していく。

質問  
ビカラーミュージアムに学芸員をアムに学芸員を配置は難しい

配置することはできないか。

答弁 教育長 ビカラーミュージアムは、博物館登録をしていない施設であり、学芸員の配置はむずかしい。

ジアムは、発足して16年が経過した。専門の学芸員を

なぎビカラーミュージアムは、発足して16年が



にぎわうビカラーミュージアム発掘体験

## Q 通学路（歩道）の安全対策は



安藤 榮一 議員

## A 今後も検討する必要がある



歩道の自転車通行区分（津山市内）

**質問** 子どもやお年寄り等、通行時の接触事故発生防止のため、歩道区域内を歩行者用と自転車用とに区分してはどうか。そのためライセン引の表示対策も有効ではないかと思うがどうか。

**答弁 町長** 歩道幅員が4m以上必要であり、公安委員会に協議しなければならない。今、すぐにはできないが、今後検討する必要がある。



ESD世界大会に奈義の子も参加

**質問** 本町のESD（持続可能な開発のための教育）についての対応と推進などの所感について尋ねる。

**答弁 教育長** 学校教育などのあらゆる活動についてESDという新しい視点から捉え、一層の充実、発展を図れるよう努めていく。

**Q** 持続可能な社会づくりと環境教育はできているか  
**A** ESDの一層の充実を図る

**質問** 中学校でのがん学習の取り組みと関心はどうか、教育長に伺う。

**答弁 教育長** 今後もがんについて関心を持ち、正しい理解ができるよう積極的に健康教育を授業に取り入れていきたい。

**Q** 学校でのがん教育はできているか  
**A** 積極的に取り組む



鷹取 渡 議員

答弁 町長  
突然の衆議院の解散を抱えてい  
多くの課題を抱えてい  
総選挙は、奈義町で立てられた計画が奈  
義町で立てるか、尋ねる。としごと創生法  
成立したが、主旨に沿つた計画が奈  
義町で立てるか、尋ねる。



より速くより正確に（衆議員選挙の開票作業）

## Q 年末の総選挙について

## A 国政の空白期間を短く

質問

現在、衆議院が解散され、総選挙が行われるが、大きな争点もなく年末の慌ただしいこの時期に、巨額の費用を使った選挙との批判もあり、説得力に欠けると思う。アベノミクスと呼ばれる経済政策が行われ、一部の企業は業績が上り、低迷していた株価も上昇したが、私達の地方への恩恵が、まだ感じられないと思うが、町長の考えを伺う。

今回の新しい法律については、岡山大学の北川教授の助言をいただく。少子高齢化や人口減少に対応するためには、国と地方の連携が大切であり、元気な町づくりを目指し、有効な施策を実施していきたい。

る。なぜこの時期なのかと思う。アベノミクスの是非を問う選挙と思うが国政の空白期間は少なくして欲しい。



奈義小学校が受賞

質問  
奈義小が「頑張る学校」に選定され、「地域による学校支援」でも表彰された。また滝川つくし幼稚園が「優良PTA」で文部科学大臣表彰を受けられた。これらはどんな活動が評価されたのか。

Q 小学校や幼稚園が表彰を受けたが何を評価されたか  
A 学校・家庭・地域の連携が認められた

答弁 教育長  
いずれの表彰も学校・家庭・地域の連携がうまくかみ合っての成果であり、滝川つくし幼稚園の受賞も、園外保育行事などで保護者・支援ボランティア皆様の取り組みが高く評価されたと理解している。

町民皆様のご理解やご支援の結果であり深く感謝申しあげる。

この他、地域おこし協力隊の事業について質問をしました。

10月21日から23日まで、  
2泊3日で、総務、産業両  
常任委員会の合同行政観察  
を行いました。  
視察先は、秋田県の小坂  
町、美郷町、青森県の深浦  
町です。以下、視察の主な  
内容を報告します。

# 総務、産業常任委員会が 東北を合同視察

◆秋田：小坂町、美郷町 ◆青森：深浦町



深浦町役場前にて

## 【深浦町】

この町は、日本一のイチヨウの大木がある町で、●留町奨励金（深浦町に定住する場合、祝い金を10万円、または5万円を支給）、●町が百分出資の加工場を作り、ニンジン、海産物などの加工、販売に取り組んでいます。熱心な役場職員がおり、必死の覚悟で頑張ったそうです。

## 【美郷町】

若い町長のもと、町づくりを進めています。この町は、●空き

**【小坂町】**  
小坂町は、かつては鉱山の町で賑わっていましたが、今は人口減に悩んでいます。

●創業チャレンジ支援（新しく創業する場合、経費の1/2を支援）分譲地造成事業などに取り組んでいました。

10月21日から23日まで、  
2泊3日で、総務、産業両  
常任委員会の合同行政観察  
を行いました。

この町では、●住宅リ  
フォームへの支援制度、  
●創業チャレンジ支援（新  
しく創業する場合、経費の  
1/2を支援）分譲地造成  
事業などに取り組んでいま  
した。

今後の奈義町の農業発展、  
地域発展のためにもお互い  
に協力できる体制をとらなければと感じました。

## 東山工業団地へ誘致予定の 株式会社果実工房を視察



おしゃれな果実工房販売店（岡山駅内）

## 東山工業団地へ誘致予定の 株式会社果実工房を視察

## 東山工業団地へ誘致予定の 株式会社果実工房を視察

## (13) 奈義町議会だより 133号

# 岡山県町村議会議員研修会

11月4日市町村振興センターで、山梨学院大学の今

村都南雄教授の「今後の町村議会のあり方」と題し、地域住民の立場に立った議会改革が大切である等学んだ。

また同じ大学の江藤教授から聞かれていたのか、奈義町の議会基本条例を取り上げられ、議員定数を10人より減らさないと条文に掲げたことは素晴らしいと



話された。

午後からは、読売テレビ

特別解説委員の岩田公雄さんによる「これからの政局・政治・経済のゆくえ」と題

した講演を聞きました。

だ。また奈義町議会だより

の江藤教授から聞かれていたのか、奈義町の議会基本

条例を取り上げられ、議員定数を10

人より減らさないと

条文に掲げたことは素晴らしいと

いふべきである。

このように、奈義町議会は、

議員定数を減らすことで、

議論の質を高めようとしている

姿勢がうかがえる。

# 組合議会の報告

## 津山資源循環施設組合

11月7日、定例会を開催し、津山圏域クリーンセンター管理棟建設工事契約を議決した。

・契約金額  
5億9604万円

・工期  
26年11月10日から27年10月30日まで

・相手方

(株)田村工務店津山、田村工務店(株)、特定建設工事共同企業体

平成25年度会計決算は、歳入34億9887万円。歳出33億850万円。翌年度繰越額1億9037万円となつた。

原案通り認定した。また、条例の専決処分を承認した。

## 消防山圏域組合

平成26年度補正予算(第2次)歳入歳出それぞれ1747万円追加し、予算総額を33億9161万円とする。

原案通り認定した。また、条例は、議員及び監査の費用弁償の改正で、車賃2000円を廃止した。

## 事務組合津山広域

11月10日、11月定例会を開催。

平成25年度決算、26年度補正予算、条例1件を審議。

歳入歳出一般会計33335万円、特別会計1487万円を承認した。

また、条例は、議員及び監査の費用弁償の改正で、車賃2000円を廃止した。

## 岡山県町村議会広報研修会

10月8日、県の広報研修会が開催されました。

毎年各方面から講師を迎えての研修ですが、今年は武藏野美術大学教授長沢忠徳氏でした。長沢氏は読者に受け入れられるための字体や字の配置、色彩のセンスを磨き、写真の題字は写つていなことも加えて、

見出しで人を引きつける事、色や字体は使いすぎると統一感がなくなる事等を学び、そして最後に他町村の議会などよりクリニックしていただき閉会となりました。

毎年学んだ事を少しずつ取り入れ読みやすい議会だよりになるよう心がけ、今後もがんばります。

## 施設組合勝英

## 農業共済事務組合

11月27日に、定例会が開催。25年度決算が上程され、歳入1億9050万円、歳出1億8896万円、繰越額153万円となり原案通り認定した。

11月12日定例会が開催され、平成25年度の決算が上程され、歳入総額4億600

# 議員が歌舞伎を上演

横仙歌舞伎大公演が11月22日(土)、23日(日)と奈義町文化センターで行われ、江戸時代から途絶えたことのない伝統を継承することができました。また今年は奈義町制施行60周年記念という節目の年でもあり、奈義町議会議員と事務局も加わり、「弁天娘女男白浪稻瀬川勢揃いの場(白浪五人男)」を取り組み、練習を20回以上積み重ねました。

いたく契機となるよう、そして横仙歌舞伎の伝統が引きつがれていく一助になればと願っています。



白波五人男

平成24年2月27日、28日、愛媛県四国中央市「JAうまい農協」に政務活動を行い、里芋の栽培技術、収穫量など研修を受け大変な刺激を受けました。

帰りの車中で、奈義町特産の里芋を見直すためにも議員で取り組むべきと意気投合し、里芋の作付に挑戦することとなりました。滝本の水田20aに2年、荒内西地内の13aに1年、計3年間行いました。収量の目標は2t(10a当たり)でしたが、奈義町では1・5t平均でした。

まだ種芋としての販売用を400kgほどを残しており、3年間の清算はまだできていませんが、作ってみて、いろいろな課題が分りました。資材、土地、肥料、収穫、販売について、今後しっかりと検討をしたいと考えています。



## 里丸会より報告

(議会議員有志)

平成24年2月27日、28日、愛媛県四国中央市「JAうまい農協」に政務活動を行い、里芋の栽培技術、収穫量など研修を受け大変な刺激を受けました。

平成27年羊年の幕明けは厳寒で白銀のお正月となりました。

昨年も台風

の上陸や、ゲリラ豪雨、御嶽山の噴火など多くの犠牲者や、被害が出で暗いニュースの目立った一年でした。今年が

穏やかで平和な年であるこ

とを願わざにはいられません。

15期議会の議会だよりも最後の発行となりました。

皆様のご意見を聞きながら工夫し、一人でも多くの方に目を通していました。ただける広報紙になるよう頑張りました。

広報委員一同感謝を添えます。

**【編集委員】**

議長 井戸中井	委員長 小阪賢泰	副委員長 鷹取洋	森藤泰
委員 井戸中井	政憲立	渡	憲立



2年間お世話になりました(編集委員メンバー)

## 編集後記